

- 団体名:NPO法人 喜多方市民活動サポートネットワーク
- 所在地:福島県喜多方市字水上6846 喜多方市厚生会館内
- TEL/FAX:0241-22-0603
- E-mail:info@shiencenter-kitakata.jp
- URL:<http://www.shiencenter-kitakata.jp/>

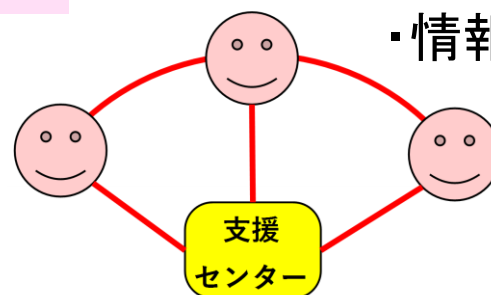
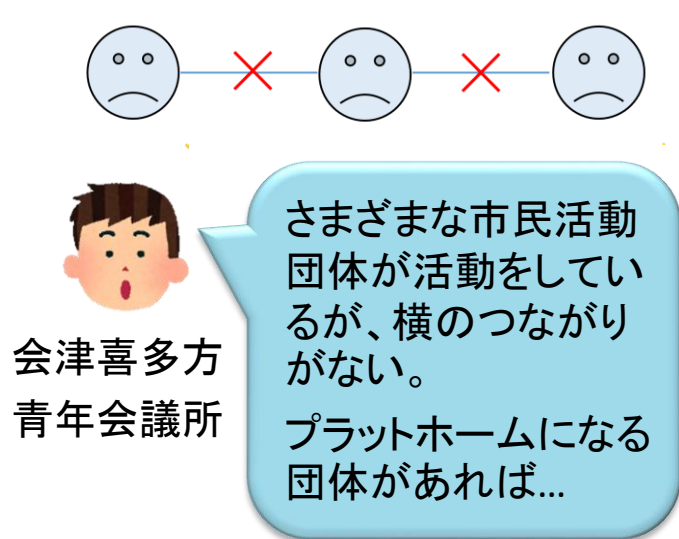
以下は11月28日(火)会津会場でのプレゼン資料です

NPO法人 喜多方市民活動サポートネットワーク (愛称:さぽねっと)



【発表者】 渡部 美加 / 中島 共宣

●設立のきっかけ



【支援センター】

- ・ネットワークの拠点
- ・情報の発信
- ・交流の場

市民主体の運営

市民や各種団体等が参画した新たな団体として、**さぽねっ**を設立。
支援センターの管理運営をする。

●団体の目的

喜多方市民が互いに支え合うための各種のボランティア活動や、より成熟した社会を目指して行う市民活動等の広範なネットワークを構築し、その拠点としての役割を果たすと共に行政・企業・各種団体・個人と連携し、地域が抱える諸問題を解決するための事業を行い、地域発展に寄与することを目的としています。

私たちの思い、考え

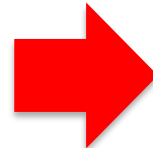
■地域の課題

【少子高齢化】

- 地域で活動する団体の高齢化が進み、活動する人・活動資金などが減少。
- 若者の参加が少なく、後継者が不足。

【人間関係の希薄化】

- 少子高齢化や核家族の増加など様々な要因で、地域とのつながりや人間関係が希薄になってきている。
- 地域のためにみんなで何かをやろうという意欲の低下。



●目指す地域の姿

- ☆愛着と誇り
- ☆「あったらいいな」を生み出しながら自発的・主体的に行動
- ☆地域課題の解決のために市民活動団体や行政、企業等が連携



活動紹介

【自主事業】

- 市民活動フェスティバル
- パソコン、スマホ教室
- 事務委託事業
- 交流事業



【喜多方市市民活動支援センターの運営】

- 市民活動団体の実態調査
- 情報交換会の開催
- HPや広報紙による情報発信
- 各種講座の開催



【喜多方市厚生会館・中央公民館分館の指定管理】

地域、住民、ボランティア、 参加者の反応

・ 市民活動フェスティバル参加団体の声

「団体間のつながりを大切にして、
一体感のある行事で楽しかった」
「地域のかたとのふれあいが新鮮で
嬉しかった」「会員が増えた」

・ パソコン教室参加者の声

「技術の習得だけでなく、参加者同
士の交流の輪が広がった」

・ 交流事業(夏休み宿題お助け広 場)参加者の声

「いろいろな学校、学年、世代の人と
交流ができた」「おじさん・おばさん
に宿題を教えてもらえてよかった」
「子どもたちと楽しく過ごせた」

・ 情報交換会参加者の声

「いろいろな活動を知ることができて
よかった」「団体同士の横のつなが
りができてよかった」



協働に向けて

活動・組織での悩み 困っていること

◆認知度が低い

さぽねっと及び喜多方市市民活動支援センターの存在、活動内容を知っている人が少ない。

◆広報力不足

さまざまな事業を行っているが、情報が広く伝わっていないため、参加者が少ない。

◆人材不足

スタッフが少ないため、できることに限りがある。



協働に向けて

企業と協働したいこと
サポートしてほしいこと

◆ 広報協力

「さぽねっと」という団体の存在、活動内容を知っていた
だき、サービスの利用や実施事業への参加を多くの方
に呼びかけたい。

→ 広報物の設置や掲示など

◆ 情報提供

NPOや個人、企業等の間に立ち、さまざまな活動への橋
渡しをしていきたい。

→ 企業のCSR・CSVの取り組みや、市民活動団体との協
働への意欲などの情報提供

◆ ボランティア協力

イベント実施の際、これまでできなかったことをやりたい。

→ ボランティアスタッフとしてイベント当日のお手伝い

企業に向けてメッセージ

さぽねっとは、喜多方市で中間支援を行っているNPO法人です。さまざまな取り組みを通して、市民活動団体とのネットワークづくりに努め、皆さんの活動がさらに活発になるよう、お手伝いをする活動をしています。

また、地域の課題に取り組む市民活動団体や、地域のために活動したいと思っている企業の皆さんの橋渡しをしていきたいと考えています。みんなが力を合わせ、よりよい地域となるような活動ができればいいなと思っています。

**私たちの活動をご理解いただき、
ぜひご協力くださいますよう
お願いいたします。**

